

# 各地区国鉄集会を成功させ 11・1労働者集会へ大結集を

## 闘いはこれからだ！ 上告棄却弾劾8・23集会に400人



8月23日、東京・永田町の星陵会館で、動労千葉と国鉄闘争全国運動主催の「闘いはこれからだ！上告棄却弾劾！報告・決起集会」が開催され、400人が結集しました(写真)。

集会は、最高裁6・30上告棄却決定を弾劾すると共に、国鉄闘争30年の勝利の地平を確認し、解雇撤回をかちとるまで闘う決意を明らかにしました。秋の各地区国鉄集会から11・1労働者集会の1万結集へ全力をあげましょう。集会発言の要旨を掲載します。

### 田中康宏(動労千葉委員長)

国鉄分割・民営化から30年、1047名解雇撤回闘争で最高裁が上告棄却を決定しました。国鉄闘争はこれ以上続けさせないという国家権力の意思の表れです。

しかし、最高裁は採用差別が明確な不当労働行為であったと確定せざるを得ませんでした。にもかかわらず解雇を撤回しませんでした。絶対に許せません。ただ、労働運動をつぶして

## 新たな解雇撤回闘争を宣言！

6月30日の最高裁決定は何を意味しているか。国家をあげた不当労働行為に対して労働者は何ができるかということを示した。闘いはこれからです。外注化・非正規化の流れ、社会の全面的崩壊に対して何ができるのかをあらゆる職場、地域で示す

### 伊藤 晃(全国運動呼びかけ人)

6月30日の最高裁決定は何を意味しているか。国家をあげた不当労働行為に対して労働者は何ができるかということを示した。闘いはこれからです。外注化・非正規化の流れ、社会の全面的崩壊に対して何ができるのかをあらゆる職場、地域で示す

最高裁決定後も闘い抜く新しい労働運動を前進させていくこと

### 金二重(全国運動呼びかけ人)

8月初旬の呼びかけ人会議でパンフレットを作ってほしいと発言しました。いいパンフレットができました。こういう形にしてくれる事務局の働きに感謝したいと思います。

### 花輪不二男(全国運動呼びかけ人)

世田谷では、会社倒産で解雇との闘いをしてきました。資本家は第二会社をつくって機械を持ち出し労働者を追い出す。偽装解散なんです。国鉄の場合、電車や線路を引き継ぐんだから労働者も引き継ぎたい。偽

憲法を改悪し戦争に突き進もうとした国鉄分割・民営化が不当労働行為だと確定させました。これは闘いの新しい根拠、拠点、出発点になると私は考えます。

いま戦争法案を制定し、政府・資本家が生き残るために戦争に出ようとしています。しかし、30年間、国鉄闘争で戦争の道を止めてきた大きな地平があります。

国会で労働者派遣法の抜本改悪、労働時間規制の解体、国家戦略特区の制定、医療も教育も競争の中に叩き込み民営化する攻撃が始まっています。

だから旗を降ろすことは絶対に考えられません。不当労働行為だったのだから、いま起きていることは全部間違いだった。決着をつける責任が国鉄労働者にはあります。

JR東日本に採用手続きを遡って全部やり直せという申入れを出すつもりです。新しい解雇撤回闘争の始まりです。

JR職場で外注化と非正規化、業務をバラバラにした結果、安全が崩壊しています。鉄道業務のすべてを別会社にして労働者ごとたたき落とす、これが第2の分割・民営化です。

戦争に向かって歩み始める中で、総評解散・連合結成に次ぐ労働運動の再編が安倍政権の手で進められています。UAゼンセン会長と安倍が極秘会談をやって連合を分裂させようという論を聞いています。UAゼンセンは徴兵制まで言う日本最大の労働組合です。戦争をめぐって労働運動の衝突が始まっています。国鉄闘争がその先頭で、旗を掲げなければなりません。

時代は変わりました。貧困、格差への怒りの声、原発政策に対する怒りの声、戦争に対する怒りの声があります。

動労総連合を全国につくろうと決断しました。10月には、外

世界の労働者と団結し、戦争と民営化の道を許さな！  
今こそ闘う労働組合を全国の職場に！

## 11・1全国労働者総決起集会

(日時) 2015年11月1日(日) 正午  
(場所) 東京・日比谷野外音楽堂

注化で強制出向に出された組合員が3年を迎えます。僕らはここにストライキを構えて闘いぬく決意です。これからの闘いの大きな柱は、外注化・非正規職

### 武谷新吾(全日建連帯労組関西地区生コン支部書記次長)

最高裁決定を弾劾します。動労千葉の解雇撤回、外注化阻止の国鉄闘争はこれからが正念場です。闘争は、労働委員会、

### 木下浩平(全国金属機械労働組合港合同執行委員)

不当労働行為を認めさせたことは大きな意義がある。国鉄闘争が11月集会の原点です。故大和幸治委員長も労働運動再生

この道は国鉄闘争にあると言っています。団結権の破壊を許さず闘います。

国鉄分割・民営化は権力中枢が関わったこと、最高裁決定は違憲訴訟でもあるのにマスコミは無視している。多くの人にこうしたパンフレットを持ち込むことが必要です。

(8・23集会発言)つき)

葉山岳夫(動労千葉顧問弁護士)

最高裁の上告棄却決定は反動判決です。

東京高裁の犯した重大な憲法違反についての審理を怠り、労働基本権、適正手続き訴訟に関する判断の誤りを真正面から判断することから逃げて、単なる法令違反、事実誤認の主張に過ぎないと上告棄却しました。

最高裁が決定を出すにはかなりの時間が経っています。毎年、全国集会を行い、10万1244筆の署名を集めた闘いや署名提出行動が大きな影響を与えました。国鉄闘争全国運動は最高裁を追い詰めました。

不採用基準が不当労働行為であると確定させました。しかし、解雇撤回を認めないことは反動判決です。解雇撤回を実現するのは労働運動の力です。弁護士もみなさんと共に闘います。

高石正博(動労千葉争議団)

30年闘ってきました。「動労千葉は永久闘争主義」と言われましたが、それで今の結果を生み出しました。これから闘います。不当労働行為があったのに解雇は撤回できないことは許さない。解雇自由の社会を許さないために闘います。

中村仁(動労千葉争議団)

何のために闘っているのか。動労千葉には、自分より傷ついた人がいて、28人の解雇者がいて、自分たちがいます。駅に行かされたり、駅から帰ってきても検修をやって自分たちが行きたい仕事につけない人もいます。だけど動労千葉は一つになつて闘っています。

これがあつたから、われわれは闘えました。だから今回の決定を受けても私たちは闘いを続けていくし、すでに闘いは始まっています。

まっています。

外注化でCTSでがんばっている組合員も、みなさんの力をいただいて職場と人と一緒にJRに戻させます。非正規でがんばっている人たちも一緒に闘っていききたい。非正規化に絶対反対の闘いをします。JRに帰ることを宣言します。

林利明(動労千葉争議団)

私は清算事業団から解雇されて28年、民間労働者をしていませう。支援者のみなさま、本当にありがとうございます。私たちは、最高裁不当決定を弾劾すると共に亡き中野洋元委員長の遺志を継承してこれからもがんばっていきたく思います。

小玉忠憲(国労秋田闘争団)

上告棄却とは言い、動労千葉が最高裁決定でかちこつたものはものすごく偉大です。「4・9政治和解」で国労闘争

団、全動労争議団も裁判を下ろしました。国労本部は私たちを組合から追放し、裁判の証人として国労の浜中元書記長は「4・9和解で解雇は不当ではなくなった」と言い、企業に籍のない者は組合員ではないと言いま

私たちは解雇撤回の裁判を継続しましたが、私は時効で切られました。羽廣さん、石崎さん、成田さんの裁判では、解雇は有効だと終わらせました。動労千葉は、不採用の問題を真っ向から突きつけた。

石井真一(動労水戸委員長)

JR東日本の常磐線全線開通に向けた攻撃との闘いを開始しました。常磐線が私たちに30秒の遅延があり、そこに電車を走らせようとしています。被曝労働の強制を許さない。外注化も闘っていきます。

JR東日本の常磐線全線開通に向けた攻撃との闘いを開始しました。常磐線が私たちに30秒の遅延があり、そこに電車を走らせようとしています。被曝労働の強制を許さない。外注化も闘っていきます。

会社ですが、赤字だからと賃金を削ることは許せません。上告棄却に負けず解雇撤回と外注化阻止で闘います。

高橋正(佐倉支部長)

動労千葉の良いところは、あきらめない、仲間を見捨てないことです。仲間を守るために闘います。

関根一美(銚子支部長)

支部に争議団2人、解雇者が1人います。共に闘います。荒井秀雄(木更津支部書記次長)

上告棄却は許せません。予科生登用時も労働者の声を抹殺しました。組合加入したCTSの組合員8人と共に闘います。

高澤成夫(千葉運転区支部長)

今秋、千葉運転区という名前が消えようとしています。粉砕して闘います。

### ◎動労千葉

梶ヶ谷正(千葉機関区副支部長)

境アクセス」という会社は労働者に低賃金を押し付けています。ものの言える組合をつくりました。壁は厚いですが、私たちの後ろには沢山の仲間がいます。組織拡大で闘っていきます。

橋本光一(郡山車両センター)

福島では原発事故への怒り、工場では外注化への怒りがあります。それに対し闘えない労働組合。こういう状況の中で満を持して動労福島を結成することにしました(9月10日に結成)。

星野文男(動労総連合・新潟委員長)

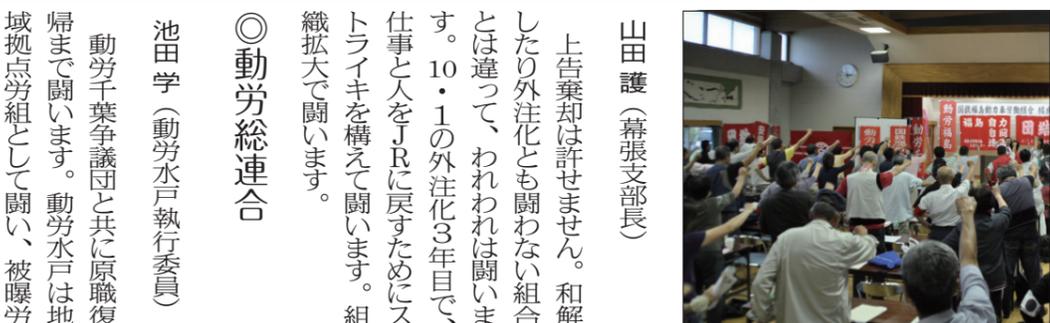
7月30日動労総連合・新潟を結成しました。

なぜ結成したのか。一つは、世界中で戦争下のゼネストが闘われている中で、日本の労働運動は体制内のみでいいのが最大の核心です。多くは国労組合員ですが、新たな階級的団結を作る決意で決断しました。

二つは、最高裁決定情勢です。最高裁決定は国鉄改革に「満天の曇り」を強制しています。動労総連合を全国に建設していきたい。

三つは、国労共闘の歴史的な総括です。国労内で20年間、営々と闘ってきた上の決断です。四つは、国鉄新潟闘争の地平と限界を乗り越えて闘う決断です。動労千葉の反合・運転保安闘争と一体で闘います。

池田学(動労水戸執行委員)



### 動労福島を結成

境アクセス」という会社は労働者に低賃金を押し付けています。ものの言える組合をつくりました。壁は厚いですが、私たちの後ろには沢山の仲間がいます。組織拡大で闘っていきます。

橋本光一(郡山車両センター)

福島では原発事故への怒り、工場では外注化への怒りがあります。それに対し闘えない労働組合。こういう状況の中で満を持して動労福島を結成することにしました(9月10日に結成)。

星野文男(動労総連合・新潟委員長)

7月30日動労総連合・新潟を結成しました。



## 帰還と被曝の強制許さない! いわき行動 300人結集 いわき運輸区で訴え

## 出向を解除せよ 動労連帯高崎スト

動労水戸などの呼びかけで8月29日、「帰還と被曝の強制許さない! いわき行動」が300人で行われた。動労水戸はこの日、ストライキを決定した。安倍政権が福島県楢葉町の避難指示を解除し賠償金も打ち切つて住民に帰還を強めることに対する闘いだ。

動労水戸の石井真一委員長は「すべての労働者に被曝が強いられる。労働組合として絶対に許せない」「動労水戸は団体交渉を要求したがJRは応じない。労働者が被曝しても関係ないという態度だ」と訴えた。

「いわき運輸区」の前では、動労水戸や動労千葉の青年部組合員が「動労水戸に入って会社と闘おう」とアピールした(写真上)。

清掃職場でストライキ 動労連帯高崎は9月12日、JR高崎鉄道サービス(TTS)の籠原と熊谷の2事業所で働く組合員が始業から終業までストライキに入った(写真下)。

ストは第一に、3年の期限で強制された出向解除を要求するものだ。第二に、TTSの車両や駅舎清掃を担っている労働者の労働条件を改善することだ。